

# 2012年最終号

霜が降りぐっと冷え込みが増すこの時期、来年のための準備が始まります。稲刈り後の田んぼを耕し、土作りをするために大切な作業です。（2011年12月号参照）藁を土にくるんで、微生物に分解してもらう事が目的のこの作業、二通りのやり方があります。一つ目は、ロータリーという機械を付けて耕すやり方（トラクターで耕しているのは大体がこちら）そしてもう一つは以前紹介したプラウという機械を付けて耕すやり方です。実は同じ耕すでも全然違うんです。ロータリーで耕した場合、表面から浅い層を耕すので藁や株がなかなか土にくるまってくれません。その分、分解されにくい状態になります。また、深い層には沈下した養分が溜まりやすくなっていますが、ロータリーではその層まで耕す事ができません。その点プラウの場合は、爪でひっかくように下の層を表面に反して（天地返し）いきますので藁は地中にしっかりとくるまり、養分の沈殿した下層の土は表面にといった具合になり微生物の活性にもつながります。有機栽培をするには理想のの耕し方です。



ロータリー

ロータリーでの作業風景



作業前の田んぼ



ロータリーで耕した後



プラウでの作業風景



プラウで耕した後

## 今年も感謝を込めて

今年も早いもので、もう12月になってしまいました。12月といえば、毎年恒例の餅つきです。日頃お世話になっている方々に感謝を込めて、今年ものし餅を贈りたいと思います。



あぜ道だより

農事組合法人 東町自然有機農法

TEL/FAX 0299-79-1920

MAIL azu\_sizen@ybb.ne.jp

HP sizen-yuuki.com

12月号